

コロナ禍で地域での孤立に気づき、つながり合い、
見守り合える人材の養成研修の開発事業

ご近所の見守り・支え合いが地域を守ります

「つながりワーカー」を養成する 教材ができました！

—ぜひ地域活動における研修にご活用ください—

監修・講師 福島 喜代子（ルーテル学院大学 総合人間学部 教授）



集合研修
またはオンライン研修で
地域の絆を深めよう

身近な地域で
開催・受講ができる
約90分の充実のプログラム

受講されたことを証明する
修了証があります

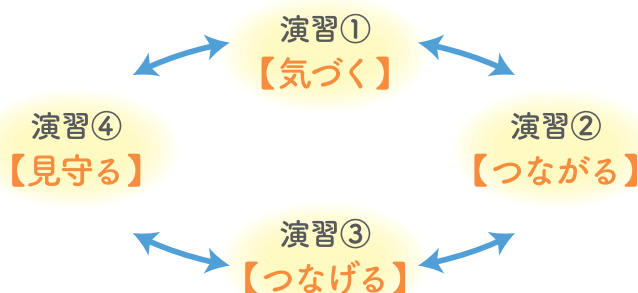
研修費および
研修後の実践活動費への
助成があります

➡ 受講後は「つながりワーカー」として地域でご活躍ください

- 地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人材を養成することを目的とした約90分の研修プログラムを作成しました。
- 子ども、障がいのある人、高齢者等幅広い人への関わり方をわかりやすいイラストとともに、具体的に学べるのが特徴です。講師による解説動画とワークブックがあり、WEBサイトから視聴・ダウンロードができます。
- 複数の演習を通して、受講者が考えを分かち合って取り組み、講師の解説を聞くことができます。ぜひ地域の皆さんと開催・受講いただければと思います。

研修内容

- 誰もが地域の中で自分らしい生活を最期まで送るためには、制度やサービスだけでは不十分です。地域で気かけ合い、見守り合い、排除や差別をしない地域づくりが、安心・安全なまちづくりにつながります。
- 孤立・孤独は深刻化することもあるので、専門職に適切につなげて相談することが必要です。そして、専門職につなげた後も、地域の中でゆるやかに見守りましょう。
- 上記について、4つの演習を通して学びます。



地域で主催される方へ 研修の開き方



①中央共同募金会の助成制度に応募します。

【URL】<https://www.akaihane.or.jp/subsidies/sub-problem-solving/29425/>

②中央共同募金会より、審査・採択後に本研修教材が掲載されているWEBサイトのURLをご案内します。

研修会の開催に向けて準備を行い、当日は受講者と一緒に学びを深めましょう。

受講後は、「つながりワーカー」としてご活躍ください！

ときどきワークブックを開いて、活動を振り返る機会としていただければ幸いです。



当日の研修の進め方



中央共同募金会のWEBサイトには、以下の3点が掲載されていますので、利用する準備を事前に行ってください。

■講師による研修動画(約90分)

WEB視聴ができます。

途中、受講者には4つの演習に取り組んでいただきます。そのうち2つの演習では、少人数のグループ(3～4人を想定しています)に分かれて話し合い等をしていただきます。

演習に取り組む時間も組み込んで、動画が作成されていますので、当日、主催者は必要最小限の負担で、能動的で活発な研修を実施できるようになっています。



【受講者が会場に集まって研修を開く場合】

プロジェクターやスクリーン等をご使用ください。また、少人数で話し合うためのテーブルセッティングをお願いします。

【Zoom等を活用したオンライン開催の場合】

動画を画面共有してご利用ください。

また、少人数で話し合うために、Zoomのブレイクアウトルーム機能等をご活用ください。

■ワークブック(A4判・フルカラー・10頁分)

ワークブックは、書き込み式となっており、上記動画内の演習で使用します。

PDFデータをダウンロードの上、原則としてカラー印刷をして、受講者に配付ください。



■受講者への修了証書(A4判・1枚分)

受講されたことを証明する修了証書をご用意しています。主催者はWordデータをダウンロードの上、受講者名および日付を記入して配付ください。



本研修開発の実施主体

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 担当:小野寺知子
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F
TEL.022-727-8730 FAX.022-727-8737 <https://www.clc-japan.com/>